Kansai Economic Insight Monthly

2018/5/23
Vol.61 April/May

・APIR "Kansai Economic Insight Monthly"は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・レポート公開時期は毎月第 4 週を予定しています。

・執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI,CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	10
中国景気モニター	10
主要月次統計	14
Release Calendar	15

要 旨

-景気は足下、先行きともにおおむね悪化基調※-

- ✓ 3月の鉱工業生産指数は2カ月連続の前月比プラス。1月の大雪の影響もあり1-3月期は2四半期ぶりに低下した。近畿経産局は基調判断を、「持ち直しの動きで推移」と前月から据え置いた。
- ✓ 4月の貿易収支は3カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年比拡大した。中国向け半導体関連を中心とした輸出の伸びが、輸入の伸びを上回ったため。
- ✓ 4月の景気ウォッチャー現状判断DIは、前月比横ばい。堅調なインバウンド需要に加え、株価が回復傾向となり高額消費が増加したことなどが消費マインドに好影響をもたらした。
- ✓ 1月の関西2府4県の現金給与総額は11カ月連続の前年比増加。実質現金給与総額は6カ月連続で改善したものの、物価上昇の影響から伸びは停滞している。
- ✓ 3月の大型小売店販売額は、2カ月ぶりの前年比プラス。スーパーの販売額は野菜価格の高騰が落ち着き減少したが、百貨店の販売額は気温上昇による春物衣料の好調により増加した。
- ✓ 貸家をはじめ、持家、分譲の減少により、3月の新設住宅着工戸数は2カ月ぶりの前年比減少となった。結果、1-3月期の新設住宅着工は4四半期連続でマイナスとなった。
- ✓ 3月の有効求人倍率は2カ月ぶりの前月比小幅改善。一方、完全失業率は横ばいであった。雇用環境は引き続き堅調である。
- ✓ 4月の公共工事請負金額は前月比増加し、2カ月連続のプラス。引き続き持ち直しがみられる。
- ✓ 3月の建設工事出来高は2カ月ぶりに前年比小幅増加したが、1-3月期は3四半期連続で減少した。
- ✓ 4月の関空への訪日外客数は14カ月連続の前年比増加。単月過去最高を更新したことに加え、13カ月連続で2桁増が続いており好調である。
- ✓ 4月の中国(累積)固定資産投資の伸びは、前月から0.5%ポイント低下した。また、同月の社会消費品小売総額の伸びは前月から0.7%ポイント下落し、4カ月ぶりのマイナスとなった。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。

【関西経済のトレンド】

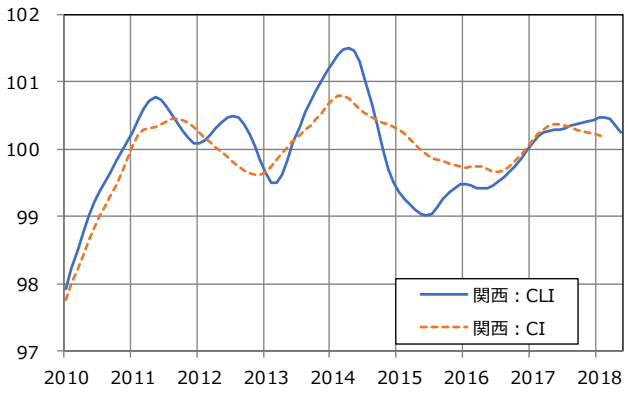
	2017年									2018年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産	↗	↘	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	
貿易	→	→	→	→	↗	↗	→	↗	→	↗	↘	↗	↗
センチメント	→	↗	↗	→	↘	→	↗	↗	↗	↘	↘	→	→
消費	→	→	→	→	→	↗	→	↗	→	→	→	→	
住宅	↘	→	↘	→	→	→	→	→	↘	↘	↗	↘	
雇用	↗	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	
公共工事	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	→	↗	↘	→	→
中国	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

(＊トレンドの判断基準)

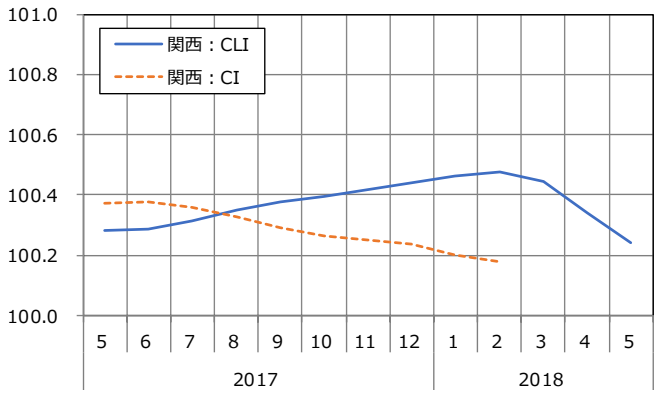
- **生産**：近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- **貿易**：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から 500 億円以上の改善は上向き、同 500 億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- **センチメント**：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DI が前月比で 1 ポイント以上の改善は上向き、1 ポイント以上の悪化は下向き、それ以外 は横ばい。
- **消費**：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で 1%以上増加していれば上向き、同 1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- **住宅**：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- **雇用**：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で 0.01 ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01 ポイント以上の悪化は下向きとする。
- **公共工事**：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI 一致指数・試作 CLI)の推移】

CI 一致指数・試作 CLI の推移(2010 年 1 月～2018 年 5 月)



直近 1 年間の CI・CLI の推移(2017 年 5 月～2018 年 5 月)



【鉱工業生産動向】

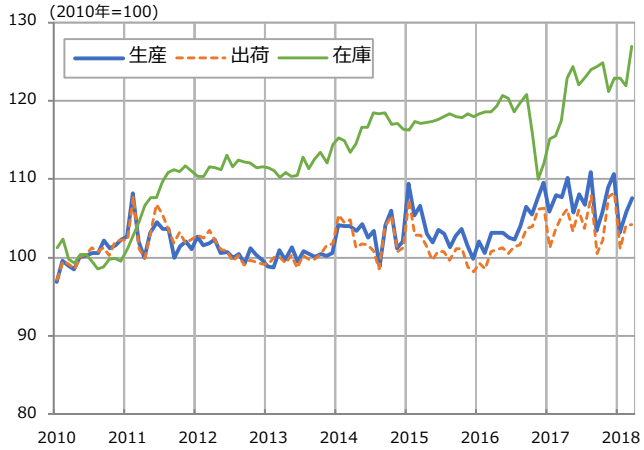
（1）関西の生産動向

関西 3 月の鉱工業生産動向(速報値：季節調整済、2010 年=100)によれば、生産は 107.6 で、前月比+1.6%と 2 カ月連続の上昇。出荷は 104.2 で、同+0.1%と小幅ながら 2 カ月連続の上昇。在庫は 126.9 で、同+4.1%と 2 カ月ぶりに上昇した。近畿経済産業局は同月の基調判断を「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と前月から据え置いた。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2015 年=100)を見ると、3 月(確報値)は 115.0 で、同+3.6%と 2 カ月ぶりに上昇した。4 月(速報値)は 115.0 で、同-0.1%と下落した。

業種別に生産指数をみると、電気機械(前月比+11.8%、2 カ月ぶり)、金属製品(同+15.6%、3 カ月ぶり)、鉄鋼(同+7.1%、2 カ月連続)、電子部品・デバイス(同+5.4%、3 カ月ぶり)等が増産となった。一方、化学(除・医薬品)(同-1.3%、2 カ月ぶり)、プラスチック製品(同-3.1%、2 カ月ぶり)、その他(同-3.6%、2 カ月ぶり)が減産となった。

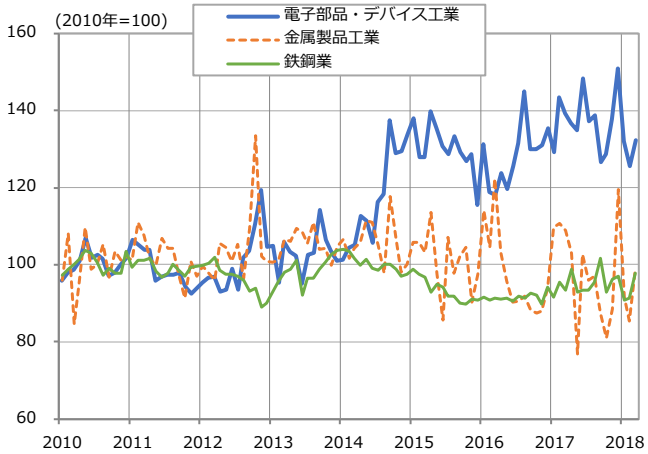
結果、1-3 月期(生産)は前期比-2.7%と、2 四半期ぶりに下落に転じた(10-12 月期同+1.3%)。

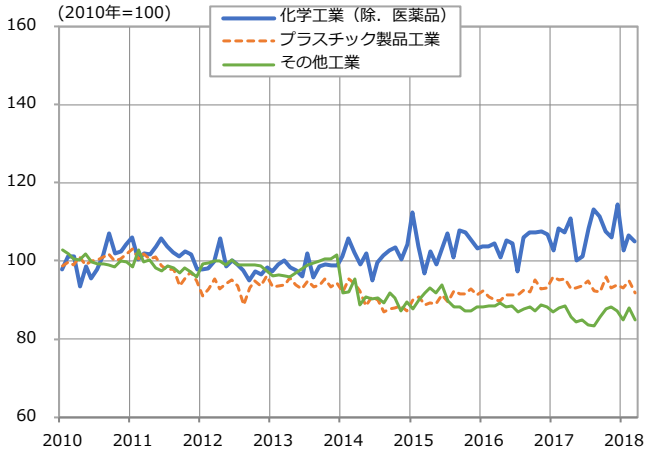
関西の鉱工業生産動向の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)



(注) 福井県を含む。
(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

関西の業種別生産指数の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)





(注) 福井県を含む。
(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

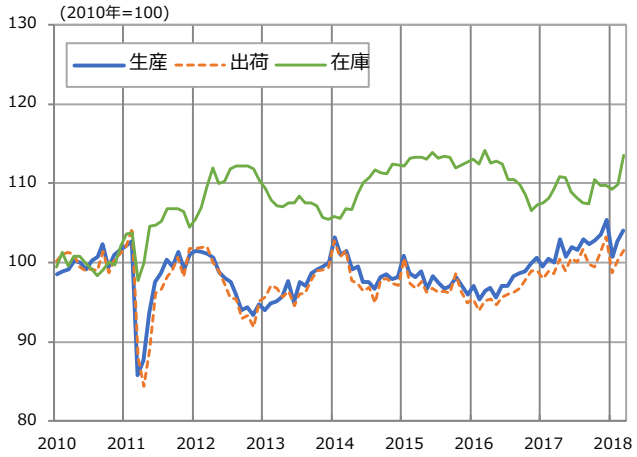
（2）全国の生産動向

全国 3 月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010 年=100)を見ると、生産は 104.1 となり前月比+1.4%上昇。出荷は 101.5 で同+1.2%上昇。在庫は 113.5 となり同+3.3%上昇。いずれも 2 カ月連続のプラスとなった。

業種別にみると、化学(前月比+1.7%)、電子部品・デバイス(同+2.5%)、輸送機械(同+0.8%)等が増産となった。一方、食料品・たばこ(同-1.2%)、その他(同-0.9%)、情報通信機械(同-0.6%)が減産となった。

結果、1-3 月期(生産)は前期比-1.3%と、8 四半期ぶりに減少に転じた。なお、製造工業生産予測調査(速報値ベース)によると、4 月は前月比+3.1%と増産が、5 月は同-1.6%と減産が予測されている。

全国の鉱工業指数の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

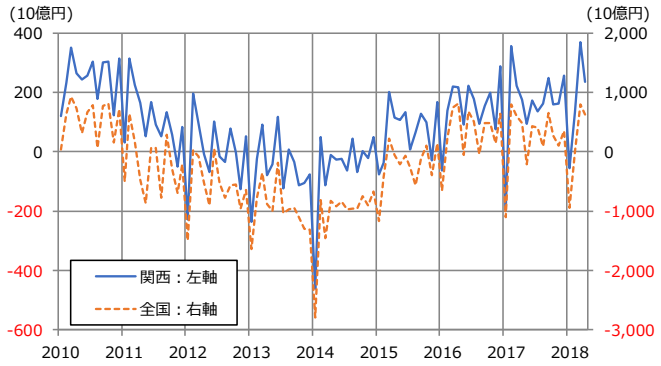
【貿易動向】

（1）純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西 4 月の貿易収支は+2,365 億円と 3 カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月(+1,747 億円)と比べて+35.3%拡大した。輸出額の伸びが、輸入額の伸びを上回ったため。

また、全国 4 月の貿易収支(速報値)は、6,260 億円と 2 カ月連続の黒字となった。黒字の伸び率は前年同月比+30.9%と 2 カ月連続で拡大した。

関西・全国の貿易収支の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

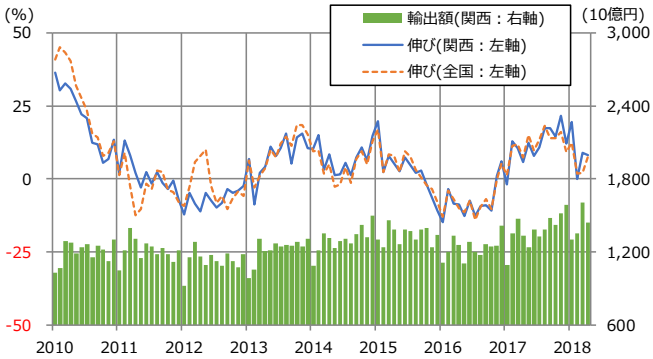
（2）輸出

関西 4 月の輸出額(速報値)は 1 兆 4,431 億円で前年同月比+8.1%と 2 カ月連続の上昇。財別に見れば、半導体等電子部品(単月過去最高額)、鉱物性燃料等が増加した。主に中国向けに、携帯端末等に使う半導体関連が大幅に伸びた。

なお、日銀の実質輸出(季節調整値，2015 年平均=100)によると、4 月(速報値)は 115.0 となり、前月比-0.1%下落した。2 カ月ぶりのマイナス。しかし、1-3 月平均比では+1.3%と上昇した。

全国 4 月の輸出額(速報値)は 6 兆 8,223 億円で、前年同月比+7.8%と 17 カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、船舶、半導体等製造装置等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

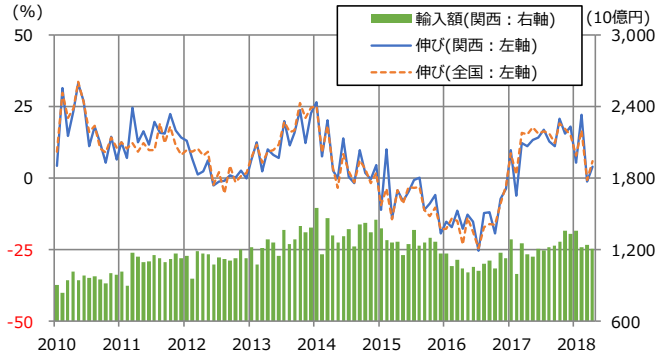
（3）輸入

関西 4 月の輸入額(速報値)は 1 兆 2,066 億円、伸びは前年同月比+3.9%と 2 カ月ぶりの増加。財別に見れば、原油及び粗油、非鉄金属等が増加した。

なお、日銀の実質輸入(季節調整値，2015 年平均=100)によると、4 月(速報値)は 100.3 となり、前月比-1.4%下落した。2 カ月連続のマイナス。結果、1-3 月平均比-6.1%と大幅下落した。

全国 4 月の輸入額(速報値)は 6 兆 1,963 億円で、前年同月比+5.9%と 2 カ月ぶりの増加。財別に見れば、原粗油、原動機、石炭等が増加した。

関西・全国の輸入の推移(2010年1月～2018年4月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

（4）関西の地域別貿易

関西4月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)の貿易収支は+2,978億円と15カ月連続の黒字であり、黒字幅は前年同月比+14.2%拡大した。輸出(9,748億円)は2カ月連続の増加(同+6.8%)。財別に見れば、半導体等電子部品、鉱物性燃料等が増加した。輸入(6,770億円)は2カ月ぶりの増加(同+3.9%)。財別に見ると、鉄鋼、半導体等電子部品等が増加した。

うち、対中貿易収支は-208億円と2カ月ぶりに赤字となった(前年同月差+293億円)。輸出(3,695億円)は2カ月連続の増加(前年同月比+11.0%)。財別に見ると、半導体等電子部品、半導体等製造装置等が増加した。輸入(3,903億円)は2カ月ぶりの増加(同+1.9%)。財別に見ると、事務用機器、がん具及び遊戯用具等が増加した。

対米貿易収支は+609億円の黒字となったが、黒字幅は3カ月連続で縮小した(前年同月比-4.6%)。輸出(1,906億円)は2カ月ぶりの増加(同+12.6%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、遊戯用具等が増加した。輸入(1,297億円)は2カ月ぶりの増加(同+23.0%)。財別に見れば、天然ガスおよび製造ガス、医薬品等が増加した。

対EU貿易収支は+172億円と3カ月連続の黒字となり、前年から黒字に転じた(前年同月差+178億円)。輸出(1,535億円)は12カ月連続の増加(前年同月比+13.0%)。財別に見れば、遊戯用具、事務用機器等が増加した。輸入(1,363億円)は14カ月ぶりの減少(同-0.1%)。財別に見れば、医薬品、有機化合物等が減少した。

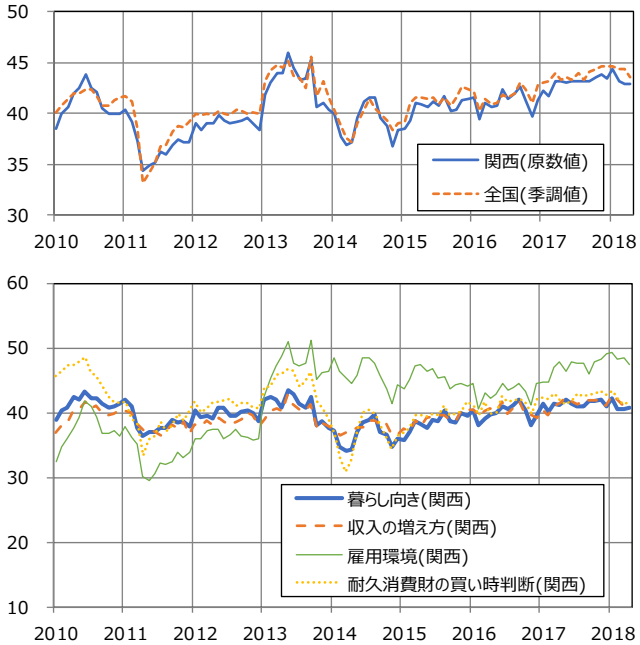
【消費者センチメント】

（1）消費者態度指数の動向

関西4月の消費者態度指数(原数値)は42.9と前月から横ばい。同指数構成項目を見ると、「収入の増え方」は同+0.5ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同+0.4ポイント、「暮らし向き」は同+0.1ポイントとそれぞれ3カ月ぶりの上昇。一方、「雇用環境」は同-1.1ポイントと2カ月ぶりの下落であった。

また、全国(季節調整値)は43.6と前月比-0.7ポイント下落し、2カ月ぶりの悪化。同指数を構成する4項目全てが悪化した。「雇用環境」は同-1.2ポイントと2カ月ぶり、「耐久消費財の買い時判断」は同-0.6ポイントと2カ月ぶり、「暮らし向き」は同-0.5ポイントと5カ月連続、「収入の増え方」は同-0.3ポイントと2カ月連続で、それぞれ下落した。電気や都市ガスのエネルギー価格など、生活に密着した分野で値上げが広がり、消費者心理が悪化した。内閣府は基調判断を「足踏みがみられる」から「弱含んでいる」に下方修正した。

消費者態度指数の推移(2010年1月～2018年4月)



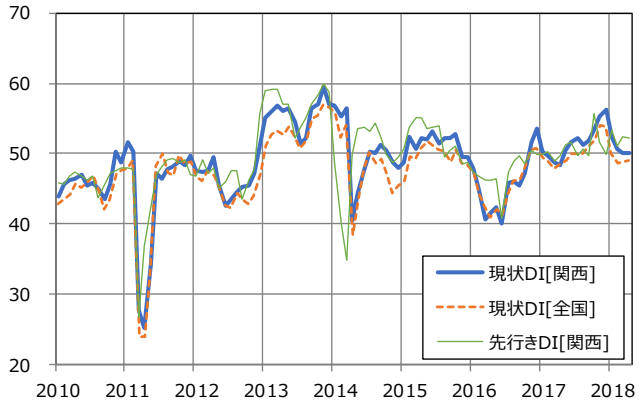
(出所) 内閣府「消費動向調査」

（2）景気ウォッチャー指数の動向

関西４月の景気ウォッチャー現状判断DI(季節調整値)は3カ月連続の悪化から、前月比横ばいの 50.1 となった。ただし、景況感の良し悪しの分かれ目となる 50 を 12 カ月連続で上回っている。関西では引き続きインバウンド消費が堅調で推移していること、気温が平均を上回り衣料品が好調であったこと、３月下旬以降株価が回復傾向となり高額消費が増加したことなどの要因が消費マインドに好影響を与えたとみられる。全国の同指数は 49.0 と同+0.1 ポイント小幅上昇し、2 カ月連続の改善となったものの、4 カ月連続で 50 を下回る状態が続いている。

一方、先行き判断 DI(季節調整値)は、関西では 52.1 と前月比-0.2 ポイント小幅下落。2 カ月ぶりの悪化となったものの、インバウンド消費が引き続き好調であることに加え、猛暑による夏物商品の販売増加などが期待されている。一方、全国は同+0.5 ポイント上昇し 50.1 となり、6 カ月ぶりの改善。2 カ月ぶりに 50 を上回った。

景気ウォッチャー調査の推移(2010 年１月～2018 年４月)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

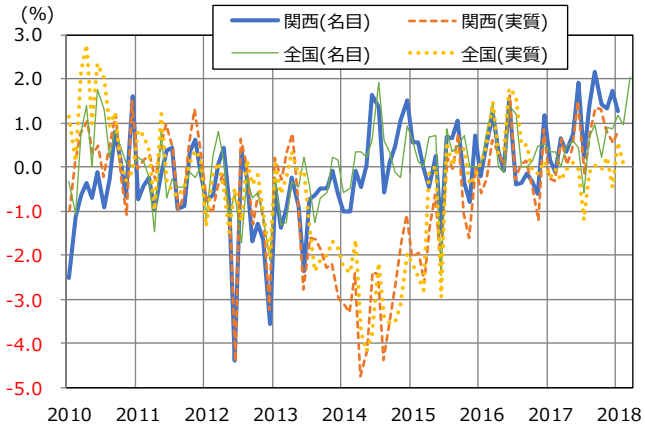
（1）現金給与総額

関西２府４県の１月の現金給与総額(APIR 推計)は 26 万 3,875 円で前年同月比+1.3%となり、11 カ月連続の増加。府県別では、大阪府が同+2.1%(8 カ月連続)、兵庫県が同+1.6%(6 カ月連続)、京都府が同+1.4%(7 カ月連続)とそれぞれ増加した。一方、奈良県が同-3.5%(14 カ月ぶり)、滋賀県は同-1.7%(2 カ月ぶり)、和歌山県は同-0.8%(2 カ月連続)と減少した。また、１月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は同+1.9%増加し、9 カ月連続の改善であった。

関西２府４県の現金給与総額から物価上昇分(持家の帰属家賃を除く総合)を除いた 1 月の実質現金給与総額(実質賃金)は前年同月比+0.9%と増加した。6 カ月連続の改善となったものの、消費者物価指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)が上昇しており、実質賃金の伸びは 3 カ月連続で 1%未満と停滞している。

全国 3 月の現金給与総額(確報値)をみると、前年同月比+2.0%増加し、8 カ月連続の改善。内訳をみると、所定内給与は同+1.2%と 12 カ月連続の増加。所定外給与は同+2.2%と 5 カ月連続の増加。特別給与は同+13.7%と 8 カ月連続で増加した。実質現金給与総額(実質賃金)は同+0.7%と 4 カ月ぶりに増加したものの、物価上昇の影響から 1%未満にとどまった。

現金給与総額の推移(2010 年１月～2018 年３月)

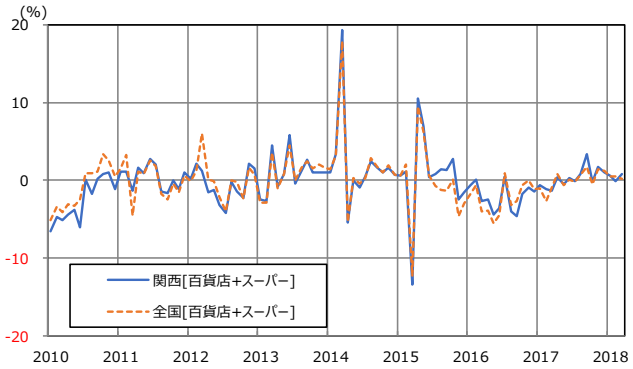


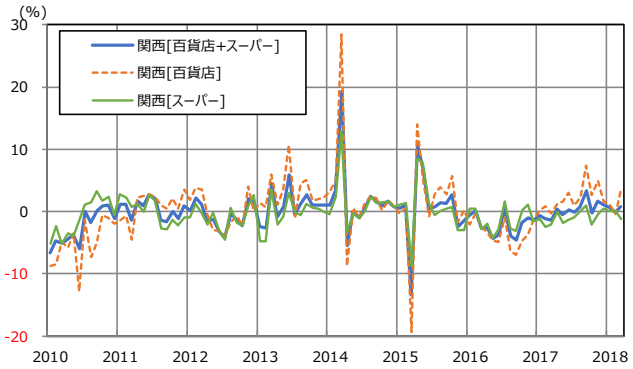
(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011 年平均)で加重平均。
(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」，総務省「消費者物価指数」より作成

（2）大型小売店販売額

関西３月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,163億円となり、前年同月比+0.8%と２カ月ぶりのプラス。うち、百貨店は同+3.6%と、２カ月ぶりのプラス。高額品や化粧品などが国内外向けに好調であり、気温上昇により春物衣料の需要が増えたため。なお、関西の百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、３月は同+77.7%(2月：同+42.6%)と17カ月連続の増加。インバウンドによる売り上げは依然好調である。また、スーパーは同-1.2%と４カ月ぶりのマイナス。総菜は好調であったものの、野菜価格の高騰が落ち着いたことによるもの。

大型小売店販売額の推移(2010年１月～2018年３月)





(注) 福井県を含む。　(出所) 経済産業省「商業動態統計」

全国３月の大型小売店販売額(全店ベース)は１兆6,345億円、前年同月比+0.2%と５カ月連続のプラスであった。うち、百貨店は同-0.5%と４カ月連続のマイナス。一方、スーパーは同+0.6%と５カ月連続のプラス。なお、小売業販売額(季節調整済指数、後方３カ月移動平均)は前月比-0.6%と２カ月連続で低下した。経済産業省は基調判断を、前月の「緩やかに持ち直している」から「横ばい傾向にある」と下方修正した。

（3）新設住宅着工の動向

関西３月の新設住宅着工戸数は10,788戸と前年同月比-8.5%と、前月(同+7.0%)から２か月ぶりに減少した。

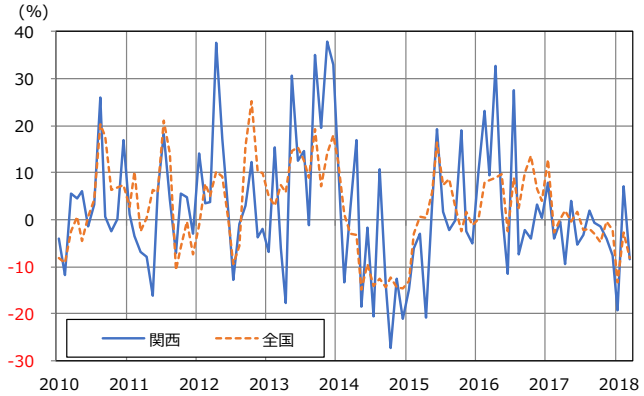
関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家、貸家と分譲はいずれも減少。特に、貸家は4,655戸となり、前年同月比-14.0%と２カ月ぶりの減少となった。持家は2,618戸で同-3.7%と13カ月連続の減少。分譲は3,476戸で同-2.4%と２カ月ぶりの減少となった。２月は分譲の急増により全体が押し上げられたが、３月はすべての項目で減少した。結果、1-3月期の新設住宅着工戸数は前年同期比-7.3%と、４四半期連続でマイナスとなった。持家、貸家、分譲はそれぞれ-4.3%(４四半期連続)、-10.6%(２四半期ぶり)、-4.9%(２四半期連続)と減少した。

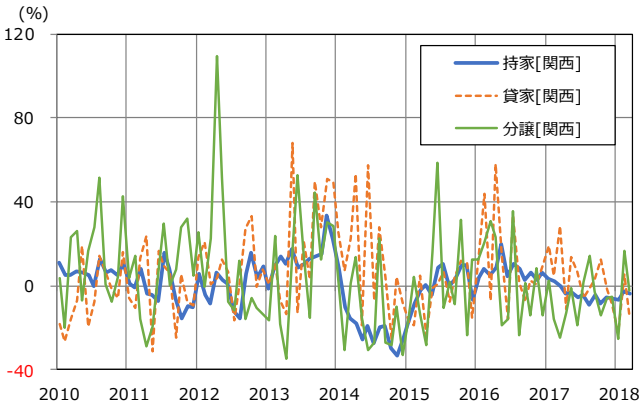
全国の同月の新設住宅着工戸数は69,616戸と前年同月比-8.3%と９カ月連続の減少。利用関係別にみると、持家、貸家、分譲のいずれも減少した。持家は20,576戸で同-4.2%と２カ月連続の減少。貸家は29,750戸で同-12.3%と10カ月連続の減少。金融機関がアパート向けローンの貸し出しを見直していることが響いた。また、分譲は19,019戸で同-3.6%と２カ月ぶりの減少となった。結果、1-3月期の新設住宅着工戸数は前年同期比-8.2%と３四半期連続で減少した。持家は同-3.4%と５四半期連続で減少。貸家は同-9.4%と３四半期連続で減少。分譲は同-10.8%で４四半期ぶりに減少した。

関西４月のマンション契約率は70.4%(季節調整値:APIR推計)となり、前月(67.1%)から+3.4%ポイント上昇した。２カ月ぶりの改善で、好不調の目安となる70%に再び回復した。神戸市部をはじめ、注目の大規模物件の販売が開始されたため。なお、1-3月期に、関西のマンション契約率は77.9%(季節調整値：APIR推計)となり、７四半期連続で70%を上回った。

一方、同月の首都圏のマンション契約率は63.3%(季節調整値:APIR推計)と前月比-9.7%ポイントと2カ月ぶりに低下した。なお、1-3月期の契約率は68.2%(季節調整値:APIR推計)となり、前期から-1.1%ポイント低下した。3四半期連続で70%を下回った。

新設住宅着工戸数の推移(2010年1月～2018年3月)





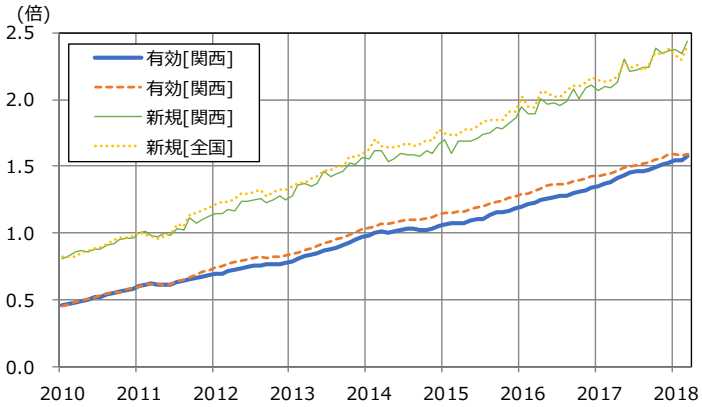
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

【雇用動向】

（1）求人倍率の動向

関西3月の有効求人倍率(季節調整値、受理地別)は、1.57倍で前月比+0.03ポイント上昇し、2カ月ぶりの改善。有効求人数が同+0.3%と小幅増加する一方、有効求職者数が同-1.4%と減少。労働需給はひっ迫した状態が続いている。府県別では、京都府が1.62倍で同+0.06ポイント、滋賀県が1.42倍で同+0.05ポイント、大阪府が1.72倍で同+0.03ポイント、奈良県が1.42倍で同+0.03ポイント、和歌山県は1.30倍で同+0.01ポイント、それぞれ上昇した。一方、兵庫県は1.38倍で同横ばいであった。

求人倍率(受理地別)の推移(2010年1月～2018年3月)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2018年2-3月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.58	1.54	1.37	1.56	1.69	1.38	1.39	1.29
3月	1.59	1.57	1.42	1.62	1.72	1.38	1.42	1.30
前月差	0.01	0.03	0.05	0.06	0.03	0.00	0.03	0.01

また、関西3月の新規求人倍率は、2.44倍で前月比+0.10ポイントと上昇し、2カ月ぶりに改善した。新規求人数が同+3.2%と増加しており、企業の採用意欲は強く、雇用情勢は堅調とみられる。なお、新規求職者数は同-0.7%減少した。

全国3月の有効求人倍率(季節調整値)は1.59倍と前月比+0.01ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの改善。高水準が続いている。また、新規求人倍率は2.41倍で同+0.11ポイント上昇し、3カ月ぶりの改善であった。

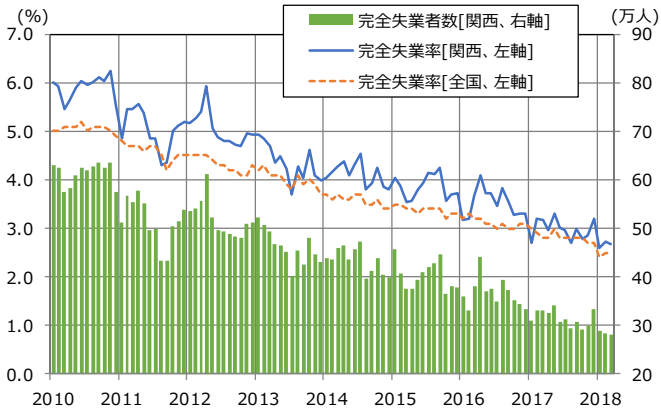
（2）完全失業率の推移

関西3月の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は2.7%と前月から横ばい。内訳をみると、非労働力人口が増加する一方で就業者数が減少しているが、好調であった1,2月の反動とみられ、雇用環境は引き続き堅調といえよう。また、完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は28.0万人で前月比-0.2万人と3カ月連続で減少した。

全国3月の完全失業率(季節調整値)は2.5%と、前月から横ばい。3カ月連続で2%台半ばの低水準が続いている。完全失業者数(季節調整値)は173万人で前月から+4万人

増加(2 カ月連続)。理由別にみると、「非自発的な離職」は同+2 万人増加、「自発的な離職(自己都合)」が同+6 万人増加、「新たに求職」は同-2 万人減少した。

完全失業率の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)



(出所)総務省「労働力調査」

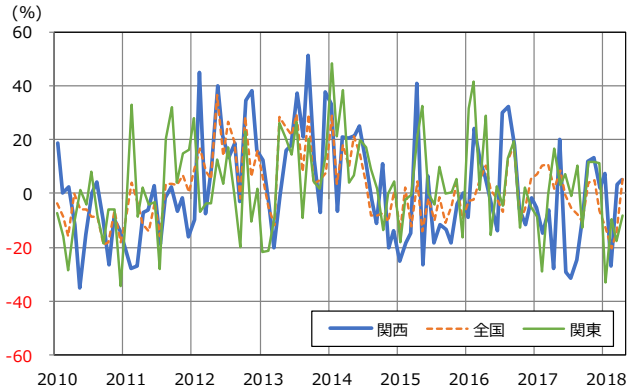
【公共投資】

（1）公共工事請負金額

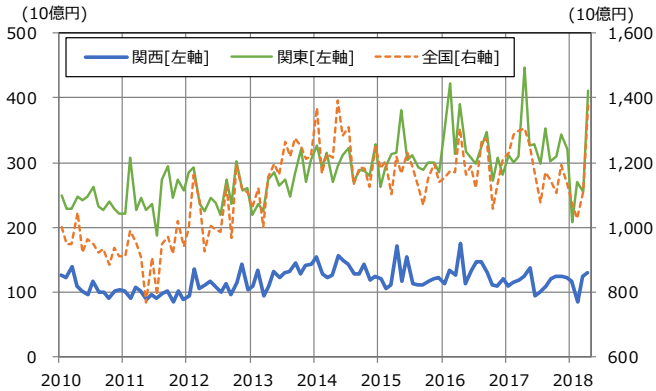
関西 4 月の公共工事請負金額は 2,118 億円で前年同月比+4.9%と 2 カ月連続で増加した。全国は 2 兆 1,777 億円で同+5.5%と 5 カ月ぶりの増加。一方、関東は 5,722 億円で同-8.0%と 4 カ月連続の減少であった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比+5.2%と増加し、2 カ月連続のプラス(前月同+46.3%)。全国は同+24.2%と 2 カ月連続のプラス(前月同+8.0%)であった。関西の公共工事請負金額は引き続き、持ち直しが見られる。

公共工事請負金額(伸び率)の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



公共工事請負金額(季調値)の推移(2010 年 1 月～2018 年 4 月)



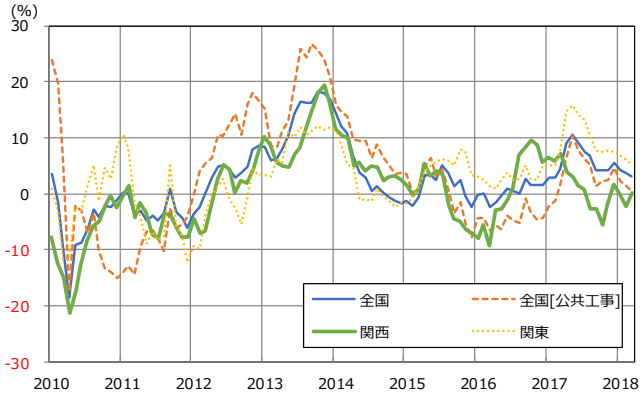
(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

（2）建設工事

関西 3 月の建設工事出来高は 5,586 億円となり、前年同月比+0.2%と、2 カ月ぶりの小幅増加。関東は 1 兆 7,308 億円で同+5.2%と 2015 年 3 月以来、37 カ月連続で増加が続いている。結果、関西の 1-3 月期の建設工事出来高は 1 兆 7,187 億円となり、前年同期比-0.7%と 3 四半期連続の減少だが、マイナス幅は前期から縮小した。関東の同期の建設工事出来高は 5 兆 2,417 億円となり、前年同期比+6.1%と 12 四半期連続で増加。関東ではオリンピック・パラリンピックの影響もあり、2018 年に入っても増加が続いている。それに対して、関西では低調な動きとなっている。

全国 3 月の建設工事出来高は 4 兆 7,516 億円となり、前年同月比+3.1%と、2016 年 6 月以来、22 カ月連続で増加しているが、伸びは減速している。うち、公共工事は 2 兆 476 億円で同+0.5%と 13 カ月連続で増加が続いているが、伸びは低調である。結果、1-3 月期の建設工事出来高は前年同期比+3.7%と 7 四半期連続で増加した。2017 年 7-9 月期以降、伸びは減速している。うち、公共工事は同+1.5%と 4 四半期連続で増加したものの、伸びは 3 四半期連続で減速した。

建設工事出来高の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)



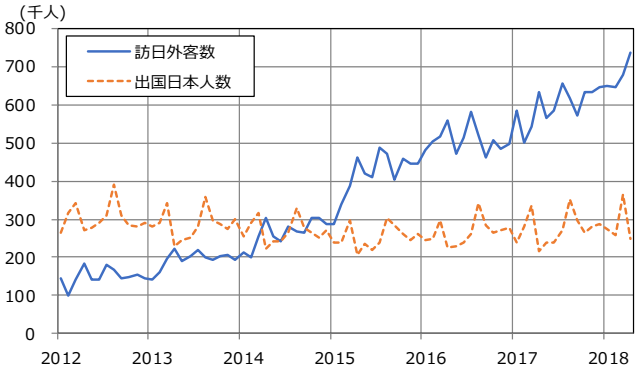
(注) 2016 年 4 月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。
(出所)国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

（1）訪日外客数トレンド

4 月の関空への訪日外客数は 73 万 5,850 人となり、単月で過去最高を更新した。伸びも、前年同月比+16.4%と 14 カ月連続で増加した。また、13 カ月連続で 2 桁増が続いている。出国外国人数は 76 万 2,090 人と同+17.2%増加した。結果、外国人旅客総合数(出入国合計)は 149 万 7,940 人と同+16.8%増加した。また、出国日本人数は 24 万 7,770 人で、同+14.4%と 2 カ月連続で増加した。訪日外客数、出国日本人数ともに増加しており、好調である。

訪日外客数と出国日本人数の推移(2012 年 1 月～2018 年 4 月)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

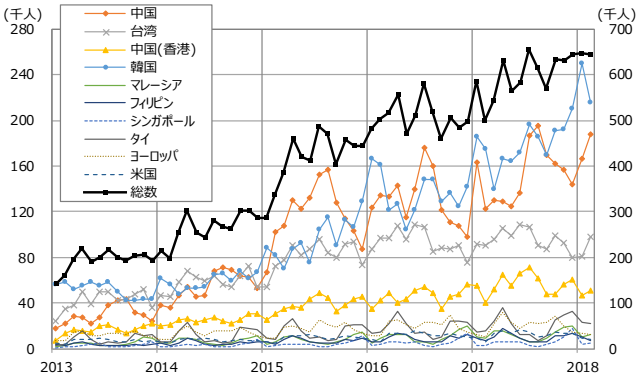
（2）地域別訪日外客数

関空訪日外客数を国籍別・地域別にみると、2 月は韓国からの入国者数が 21 万 5,407 人(前年同月比+23.4%)となり、最も多かった。次いで、中国(香港除く)が 18 万 7,811 人(同+53.5%)、台湾が 9 万 8,170 人(同+8.0%)、香港が 5 万 1,371 人(同+27.4%)であった。2 月は春節の影響から中国(香港除く)の訪日外客数が大幅に増加した。

他のアジア各国からは、タイが 2 万 2,471 人(前年同月比+44.4%)、マレーシアが 1 万 2,494 人(同+39.0%)、フィリピンが 7,240 人(同+4.3%)、シンガポールが 4,671 人(同+87.4%)であった。

他地域を見ると、ヨーロッパでは 1 万 1,979 人(前年同月比+13.7%)、米国が 7,848 人(同+31.7%)であった。

地域別訪日外客数(右軸：総数、左軸：各国、2018 年 2 月まで)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

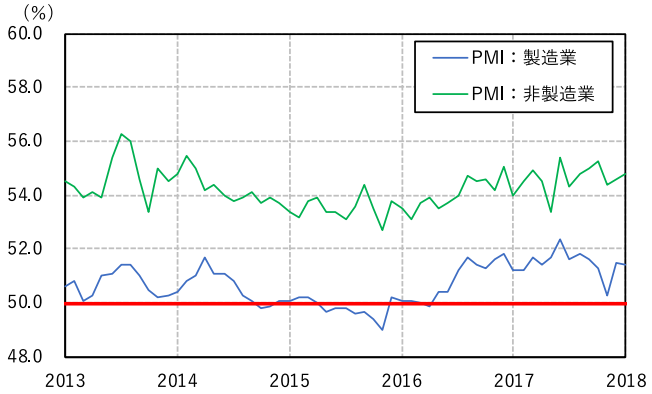
【中国景気モニター】

（1）センチメント

4 月の製造業の購買担当者景況指数(PMI)は 51.4 となり、前月比-0.1%ポイントと 2 か月ぶりに下落したが、21 カ月連続で景気分岐点の 50 を上回った。非製造業 PMI は 54.8 となり、前月比+0.2%ポイントと 2 カ月連続で上昇した。

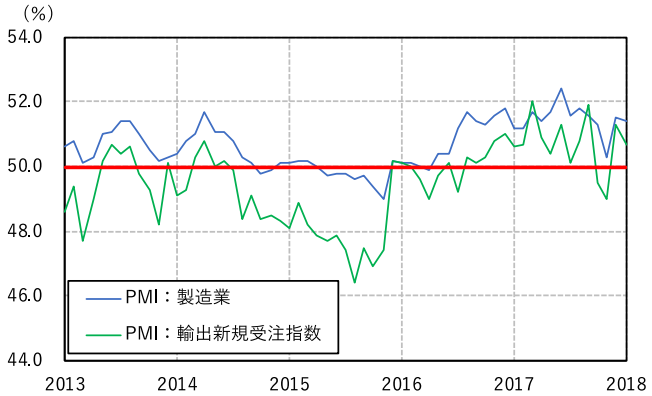
製造業 PMI のうち、生産指数は 53.1 となり、前月比横ばいとなった。輸出新規受注指数は 50.7 となり、同-0.6%ポイントと 2 か月ぶりに下落したが、2 カ月連続で 50 を上回っている。雇用指数は 49.0 となり、同-0.1%ポイントと 2 か月ぶりに下落し、13 カ月連続で 50 を下回っている。

製造業・非製造業購買担当者景況指数(2013年4月～2018年4月)



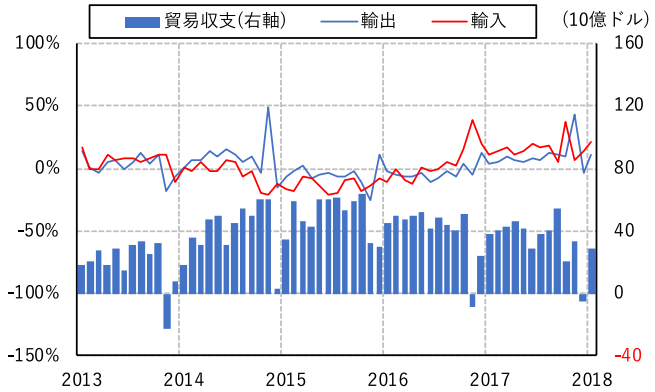
(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

製造業購買担当者景況指数(2013年4月～2018年4月)



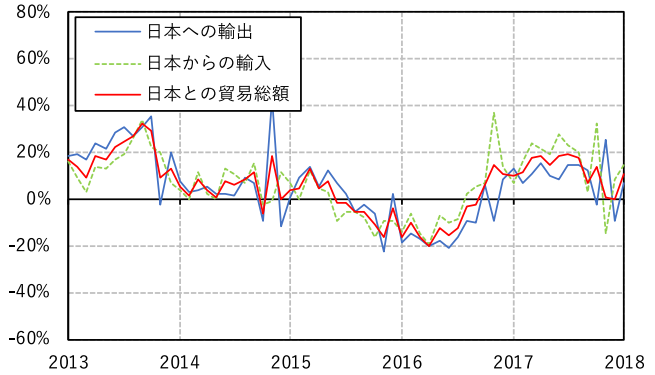
(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

中国の貿易動向(ドル・ベース, 2013年4月～2018年4月)



(出所) 中国税関; CEICデータベース; APIR計算

日本との貿易(円ベース, 2013年4月～2018年4月)



(出所) 中国税関; CEICデータベース; APIR計算

（2）貿易動向

4月の貿易収支は287.8億ドルの黒字となった。輸出額(速報値, ドル・ベース)は2,004.4億ドルとなり、前年同月比+11.4%と2カ月ぶりの増加。輸入額は1,716.5億ドルとなり、同+20.9%と18カ月連続で増加した。

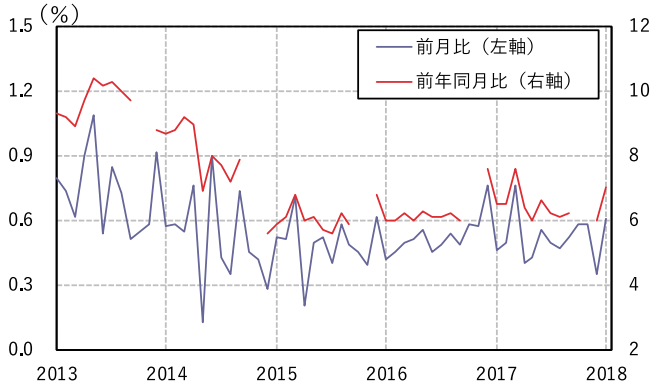
また、対日貿易収支は-30.4億ドルとなり、15カ月連続の赤字となった。対日輸出額は122.8億ドルとなり、前年同月比+9.6%と2か月ぶりの増加。対日輸入額は153.2億ドルとなり、同+17.1%で2カ月連続の増加。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+7.0%と2カ月ぶりの増加。また、対日輸入額は同+14.3%と2カ月連続の増加となった。

（3）工業生産

4月の工業生産は前月比+0.61%となり、伸びは前月から+0.26%ポイント増加した。また、前年同月比+7.0%と伸びは前月から+1.0%ポイント上昇した。

産業別に見ると、専用設備製造業(前年同月比+13.2%)、パソコン・通信設備製造業(同+12.4%)、自動車製造業(同+11.9%)などが高い伸びを示す一方で、鉄道･輸送機器製造業(同+2.9%)、繊維工業(同+2.2%)、非金属鉱物製品製造業(同+1.9%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2013 年４月～2018 年４月)



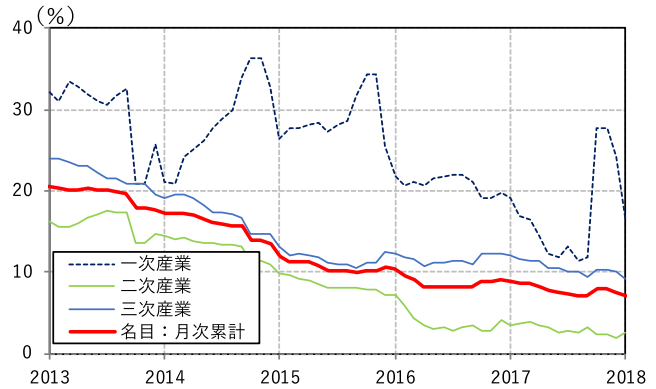
（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（４）固定資産投資

1-4 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+7.0%となり、1-3 月期(同+7.5%)より-0.5%ポイント低下した。

1-4 月期を産業別に見ると、第 1 次産業は前年同期比+16.8%増加したが、伸びは前月から-7.4%ポイントと 2 カ月連続の減速。第 2 次産業は同+2.5%と伸びは 2 か月ぶりに加速(前月差+0.5%ポイント)。第 3 次産業は同+9.3%と 2 カ月連続で減速した(前月差-0.7%ポイント)。

固定資産投資(産業別)累積伸び率(2013 年４月～2018 年４月)

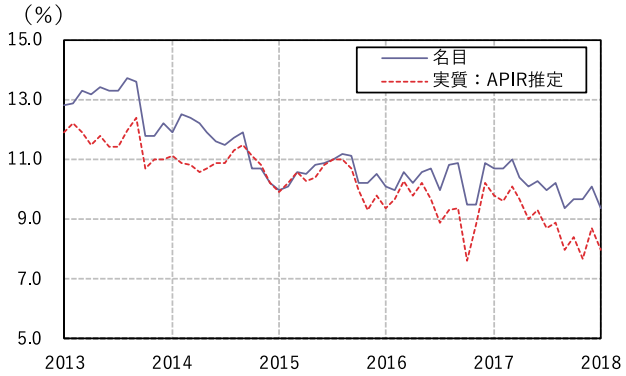


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（５）消費

４ 月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+9.4%となり、伸びは前月から-0.7%ポイント下落し、４ カ月ぶりのマイナスであった。また、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推計)をみると、伸びは同+7.9%と前月から-0.7%ポイント下落し、３ カ月ぶりのマイナスであった。

社会消費品小売総額(2013 年４月～2018 年４月)

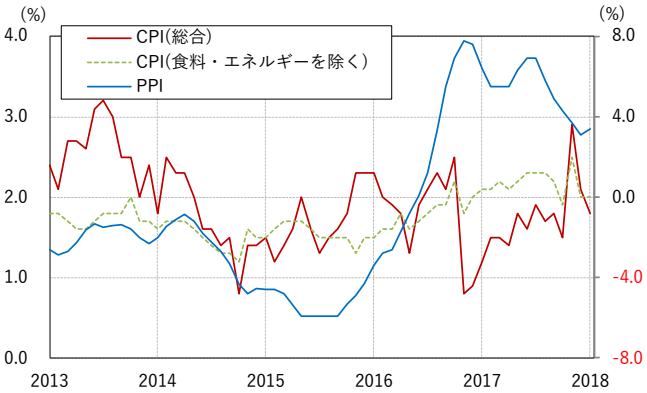


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（６）物価水準

４ 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.8%で、前月から-0.3%ポイント低下し、２ カ月連続で減速した。また、生産者物価指数(PPI)は同+3.4%となり、前月から+0.3%ポイント上昇し、６ カ月ぶりに加速した。

消費者物価指数・生産者物価指数(2013 年４月～2018 年４月)

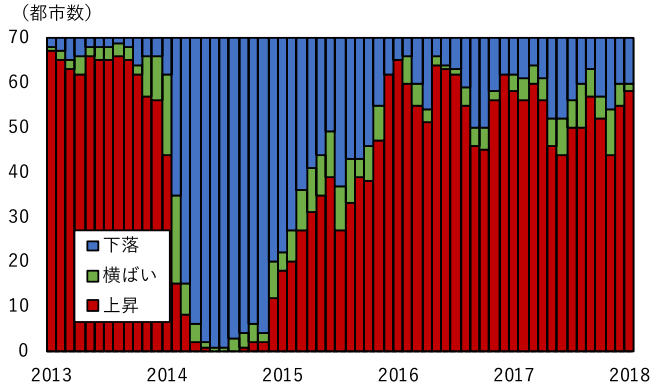


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（７）不動産市場

４ 月の不動産市場は前月と同様、回復を維持している。不動産価格(新築住宅価格)をみると、中国主要 70 都市のうち、上昇した都市数は 58 で前月から３ 都市増加した。一方、下落した都市数は 10 で前月から横ばい。また、横ばいの都市数は２ で前月から３ 都市減少した。

新築住宅価格の主要都市集計(2013 年 4 月～2018 年 4 月)

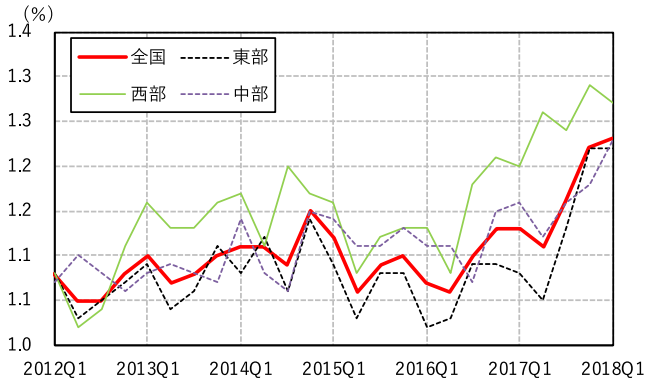


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（8）求人倍率

1-3 月期の有効求人倍率は 1.23 となり、2017 年 10-12 月期より+0.01 ポイント上昇し、3 四半期連続の改善。求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.22 倍で前期と同水準を維持している。中部は 1.23 倍で同+0.05 ポイント上昇し、3 四半期連続の改善。西部は 1.27 倍で同-0.02 ポイント低下し、2 四半期ぶりに悪化した。

有効求人倍率(2018 年 1-3 月期まで)

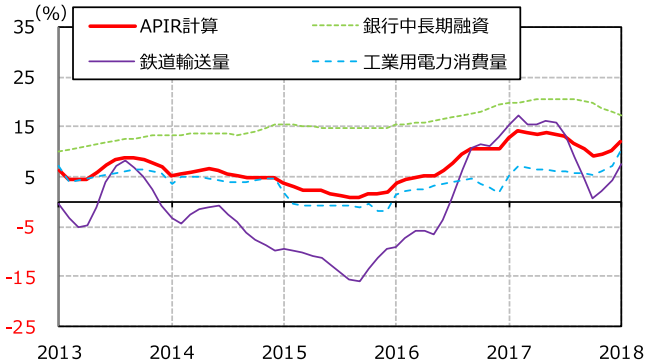


(出所)中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース

（9）リコノミクス指数

3 月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+12.1%と前月から+1.8%ポイント上昇し、3 カ月連続で加速した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+17.3%となり、伸びは前月から-0.6%ポイント低下し、6 カ月連続の減速。鉄道輸送量は同+7.7%となり、伸びは前月から+3.2%ポイント上昇し、3 カ月連続で加速。工業用電力消費量は同+10.4%となり、伸びは前月から+3.1%ポイント上昇し、3 カ月連続で加速した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2018 年 3 月まで)



（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

Contact：木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰
Tel. 06-6485-7694
E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月　次　統　計	17/4M	17/5M	17/6M	17/7M	17/8M	17/9M	17/10M	17/11M	17/12M	18/1M	18/2M	18/3M	18/4M
景　況　感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	48.4	50.4	51.7	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2	52.4	50.7	50.1	50.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	49.7	51.2	51.6	49.7	50.6	49.6	55.6	51.7	49.9	53.4	51.0	52.3	52.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	48.5	49.1	50.0	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6	48.9	49.0
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	49.5	50.0	50.5	50.5	51.2	51.1	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4	49.6	50.1
消　費　者　心　理　・　小　売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.1	43.0	43.2	43.2	43.2	43.1	43.6	43.8	43.4	44.4	43.2	42.9	42.9
[関西]〃暮らし向き(原数値)	41.2	42.0	41.3	41.0	41.0	41.7	41.7	41.9	40.9	42.2	40.6	40.6	40.7
[関西]〃収入の増え方(原数値)	41.4	42.4	41.6	41.2	41.8	41.8	41.8	41.9	41.0	42.7	41.8	41.1	41.6
[関西]〃雇用環境(原数値)	47.9	46.4	47.9	47.6	47.6	45.9	47.9	48.2	49.1	49.3	48.2	48.5	47.4
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	41.8	41.3	41.8	42.9	42.5	42.8	43.0	43.3	42.7	43.4	42.2	41.3	41.7
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.2	43.6	43.3	43.8	43.3	43.9	44.5	44.9	44.7	44.7	44.3	44.3	43.6
[関西]大型小売店販売額(10億円)	304.4	309.0	304.9	339.1	305.4	293.8	310.3	329.4	410.6	332.9	286.3	316.3	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.4	-0.5	0.3	-0.1	0.8	3.4	-0.2	1.7	1.0	0.6	-0.1	0.8	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,558.3	1,588.1	1,569.4	1,717.9	1,565.5	1,496.8	1,588.9	1,671.3	2,092.1	1,682.6	1,456.5	1,634.5	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.8	-0.6	0.1	-0.2	0.7	1.8	-0.5	1.4	1.2	0.5	0.5	0.2	UN
住　宅　・　建　設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,812	11,115	12,002	12,601	11,790	11,354	12,164	11,764	10,224	9,196	11,387	10,788	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-9.5	4.1	-5.4	-3.3	1.8	-0.7	-1.5	-4.0	-7.7	-19.4	7.0	-8.5	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	83,979	78,481	87,456	83,234	80,562	83,128	83,057	84,703	76,751	66,358	69,071	69,616	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	1.9	-0.3	1.7	-2.3	-2.0	-2.9	-4.8	-0.4	-2.1	-13.2	-2.6	-8.3	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	77.6	76.5	77.6	71.7	78.2	76.6	75.6	76.9	78.6	81.9	84.9	67.1	70.4
[関西]マンション契約率(原数値)	78.2	79.9	80.2	73.6	80.0	74.5	74.2	77.7	74.9	78.1	83.9	67.3	71.0
[首都圏]マンション契約率(季節調整値)	66.6	78.4	65.2	66.4	68.6	66.8	65.7	68.1	74.0	68.1	63.5	73.0	63.3
[首都圏]マンション契約率(原数値)	66.3	79.9	67.2	71.9	68.2	64.9	60.7	67.9	72.5	65.2	65.0	74.7	63.0
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	201.8	147.3	122.4	120.3	102.7	139.4	129.9	85.4	97.5	65.4	49.8	122.2	211.7
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-27.8	20.0	-29.2	-31.3	-24.7	-8.1	11.7	13.2	1.8	7.5	-26.9	3.4	4.9
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	2,064.6	1,242.1	1,518.5	1,288.8	1,149.4	1,319.1	1,171.2	863.3	797.3	610.1	613.9	1,269.7	2,177.7
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	1.7	8.5	-0.6	-5.4	-7.9	-10.4	3.9	5.0	-6.4	-12.8	-20.2	-14.5	5.5
[関西]建設工事(総合、10億円)	470.9	465.1	483.7	500.3	516.6	536.8	547.9	586.5	608.9	589.9	570.2	558.6	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	3.9	2.9	1.5	0.8	-2.6	-2.7	-5.6	-1.8	1.6	0.0	-2.2	0.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,902.3	3,903.1	4,095.9	4,241.2	4,471.7	4,689.1	4,902.6	4,970.9	5,054.8	4,929.2	4,808.8	4,751.6	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	9.1	10.5	9.0	7.5	6.8	4.1	4.2	4.3	5.4	4.3	3.7	3.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,450.6	1,428.6	1,505.1	1,568.4	1,711.7	1,876.0	2,043.9	2,085.1	2,164.5	2,094.8	2,041.1	2,047.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	6.4	10.3	7.7	6.1	5.3	1.4	2.2	2.5	4.6	2.2	1.6	0.5	UN
生　産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	110.2	105.7	108.1	106.7	110.9	103.4	105.7	108.9	110.7	103.1	105.3	107.6	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.3	-4.1	2.3	-1.3	3.9	-6.8	2.2	3.0	1.7	-6.9	2.1	1.6	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	4.6	3.8	5.4	2.3	6.2	-3.6	0.1	1.6	1.3	1.6	-0.8	0.7	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	3.0	3.0	1.4	3.7	3.6	2.9	7.8	10.2	9.7	6.8	5.6	8.1	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	106.2	103.3	106.0	103.7	107.9	100.5	102.2	107.8	108.3	101.1	104.1	104.2	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	1.0	-2.7	2.6	-2.2	4.1	-6.9	1.7	5.5	0.5	-6.6	3.0	0.1	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	122.9	124.3	122.0	122.9	124.0	124.3	124.9	121.2	122.9	122.9	121.9	126.9	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	4.6	1.1	-1.9	0.7	0.9	0.2	0.5	-3.0	1.4	0.0	-0.8	4.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	103.8	100.1	102.3	101.5	103.5	102.5	103.0	103.5	106.5	100.7	102.7	104.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	4.0	-3.6	2.2	-0.8	2.0	-1.0	0.5	0.5	2.9	-4.5	2.0	1.4	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	4.9	5.4	5.3	4.1	5.8	1.5	2.7	2.3	4.2	2.2	0.7	1.4	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	-1.1	-1.3	-2.9	-2.3	-2.9	-2.4	2.0	3.0	2.1	1.5	1.6	3.9	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	101.1	98.2	100.7	100.0	101.8	99.3	98.9	101.2	104.1	98.7	100.3	101.5	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	2.7	-2.9	2.5	-0.7	1.8	-2.5	-0.4	2.3	2.9	-4.5	1.6	1.2	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.3	111.3	109.1	107.9	107.3	107.3	110.7	109.8	109.5	109.3	109.9	113.5	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	1.5	0.0	-2.0	-1.1	-0.6	0.0	3.2	-0.8	-0.3	-0.5	0.5	3.3	UN
労　働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.4	0.7	1.9	0.2	1.4	2.1	1.4	1.3	1.7	1.3	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.1	0.6	1.6	0.3	1.6	2.2	1.6	1.4	1.9	1.9	UN	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.5	0.6	0.4	-0.6	0.7	0.9	0.2	0.9	0.9	1.2	1.0	2.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.0	3.3	3.0	3.0	2.7	3.0	2.8	2.9	3.2	2.6	2.7	2.7	UN
[関西]完全失業率(原数値)	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	2.8	2.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	2.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	2.13	2.30	2.21	2.22	2.24	2.24	2.38	2.34	2.36	2.37	2.34	2.44	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.17	2.28	2.24	2.26	2.22	2.27	2.35	2.34	2.38	2.34	2.30	2.41	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.41	1.43	1.45	1.46	1.46	1.47	1.49	1.51	1.52	1.54	1.54	1.57	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.47	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59	UN
国　際　貿　易													
[関西]純輸出(10億円)	174.7	94.2	172.4	135.1	161.9	249.8	160.1	162.8	256.1	-53.9	134.2	368.5	236.5
[関西]輸出(10億円)	1,335.5	1,239.5	1,383.9	1,329.4	1,382.4	1,482.4	1,425.3	1,520.4	1,589.4	1,303.4	1,353.5	1,606.8	1,443.1
[関西]輸出(前年同月比%)	5.9	12.4	8.0	10.8	17.4	17.3	14.4	21.5	12.0	19.5	0.0	8.8	8.1
[関西]輸入(10億円)	1,160.8	1,145.2	1,211.5	1,194.3	1,220.5	1,232.6	1,265.2	1,357.6	1,333.4	1,357.3	1,219.3	1,238.3	1,206.6
[関西]輸入(前年同月比%)	11.2	13.3	14.3	16.9	12.7	11.1	20.8	15.5	18.0	5.5	22.2	-1.3	3.9

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for April/May

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
23-Apr	24-Apr 近畿地域鉱工業 生産動向（2 月:確報）	25-Apr 出入国管理統計 (2 月)	26-Apr 貿易統計 (3 月:確速)	27-Apr 商業動態統計 (3 月:速報値) 鉱工業指数 (3 月:速報値) 一般職業紹介状況 (3 月) 労働力調査（3 月) 建築着工統計調査 (3 月)
30-Apr 中国製造業 PMI (3 月)	1-May	2-May 消費動向調査(4 月)	3-May	4-May
7-May 中国求人倍率 (1-3 月)	8-May 中国貿易統計 (4 月:速報値)	9-May 毎月勤労統計調査 (3 月:速報値)	10-May 景気ウォッチャー 調査（4 月) 近畿圏貿易概況 (2 月:確報) 近畿圏貿易概況 (3 月:確・速) 中国工業生産(4 月) 中国消費者物価指数 (4 月) 中国企業物価指数 (4 月)	11-May 近畿地域鉱工業 生産動向（3 月:速報)
14-May	15-May 公共工事前払金保証 統計（4 月) 中国消費小売総額 (4 月) 中国固定資産投資 (4 月)	16-May 1-3 月期 GDP (1 次速報値) 鉱工業指数 (3 月:確報値) 商業動態統計 (3 月:確報値) 中国不動産市場 (4 月)	17-May	18-May 建設総合統計(3 月)
21-May マンション市場動向 (4 月) 貿易統計 (4 月:速報) 近畿圏貿易概況 (4 月:速報) 出入国者数 (4 月)	22-May	23-May 毎月勤労統計調査 (3 月:確報値)	24-May	25-May 出入国管理統計(3 月)